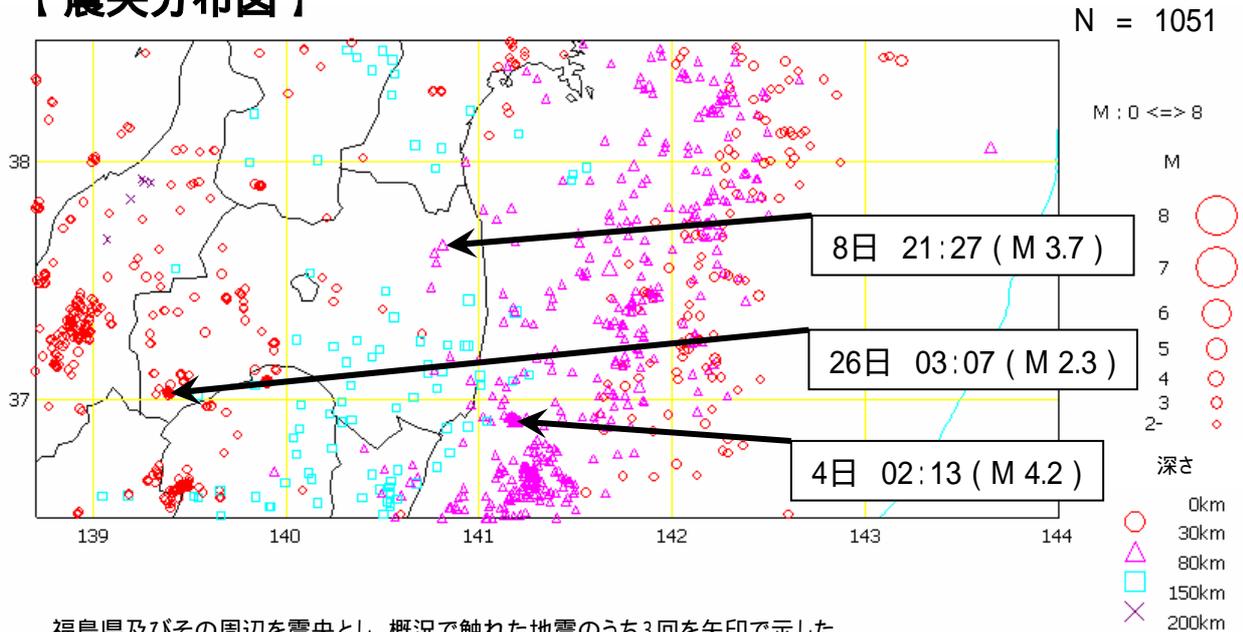


福島県とその周辺の地震活動図

2007年8月1日～2007年8月31日
福島地方気象台

【震央分布図】



【概況】

この期間に、福島県とその周辺を震源とする地震は1051回発生し、県内で震度1以上を観測した地震は10回であった。また、県内の最大震度は3であった。

図の範囲外であるが、1日17時15分に三重県南東沖の深さ383kmでM5.5の地震が発生し、岩手県から神奈川県にかけて震度2～1を観測した。県内では、白河市、二本松市、田村市、いわき市、南相馬市などで震度2を観測するなど、中通りと浜通りで震度2～1を観測した。この地震は、陸のプレートの下に沈み込んだ太平洋プレート内で発生した深い地震である。太平洋プレート内部を伝わる地震の揺れは、周りに比べて減衰が小さいため、震央付近より、海溝に近い太平洋沿岸付近で大きい揺れを観測する「異常震域」となった。

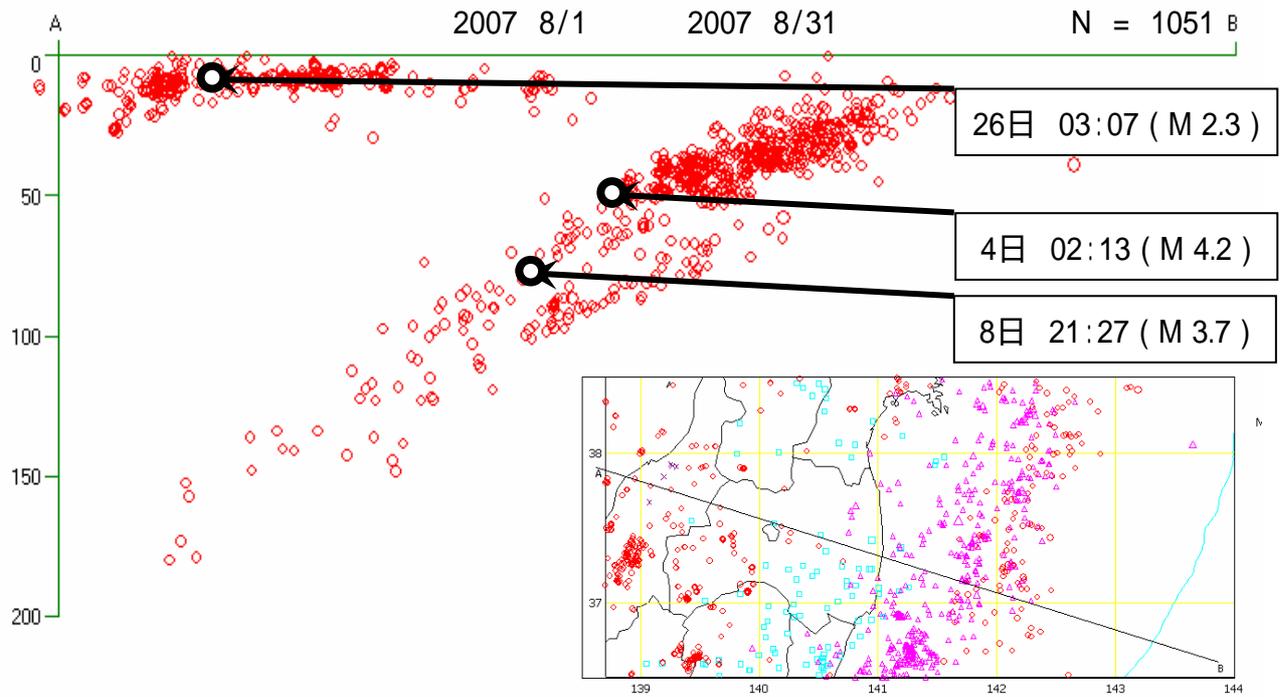
4日02時13分に福島県沖の深さ49kmでM4.2の地震が発生し、福島県田村市で震度3を観測したほか宮城・福島・茨城・栃木県で震度2～1を観測した。県内では、田村市で震度3を観測したほか、中通りと浜通りで2～1を観測した。この地震は、陸のプレートと太平洋プレートの境界で発生した地震である。

8日21時27分に福島県浜通りの深さ77kmでM3.7の地震が発生し、福島県田村市・葛尾村で震度2を観測したほか宮城・福島・茨城県で震度1を観測した。県内では、田村市、葛尾村で震度2を観測したほか、中通り北部、中部、浜通り中部で震度1を観測した。この地震は、沈み込む太平洋プレートの内部(二重地震面の上面)で発生した地震である。

26日03時07分に福島県会津の深さ8kmでM2.3の地震が発生し、福島県檜枝岐村で震度2を観測した。この地震は、地殻内で発生した地震である。この付近は地震活動が活発な場所で、7月2日にもM2.0の地震が発生し福島県檜枝岐村で震度1を観測している。

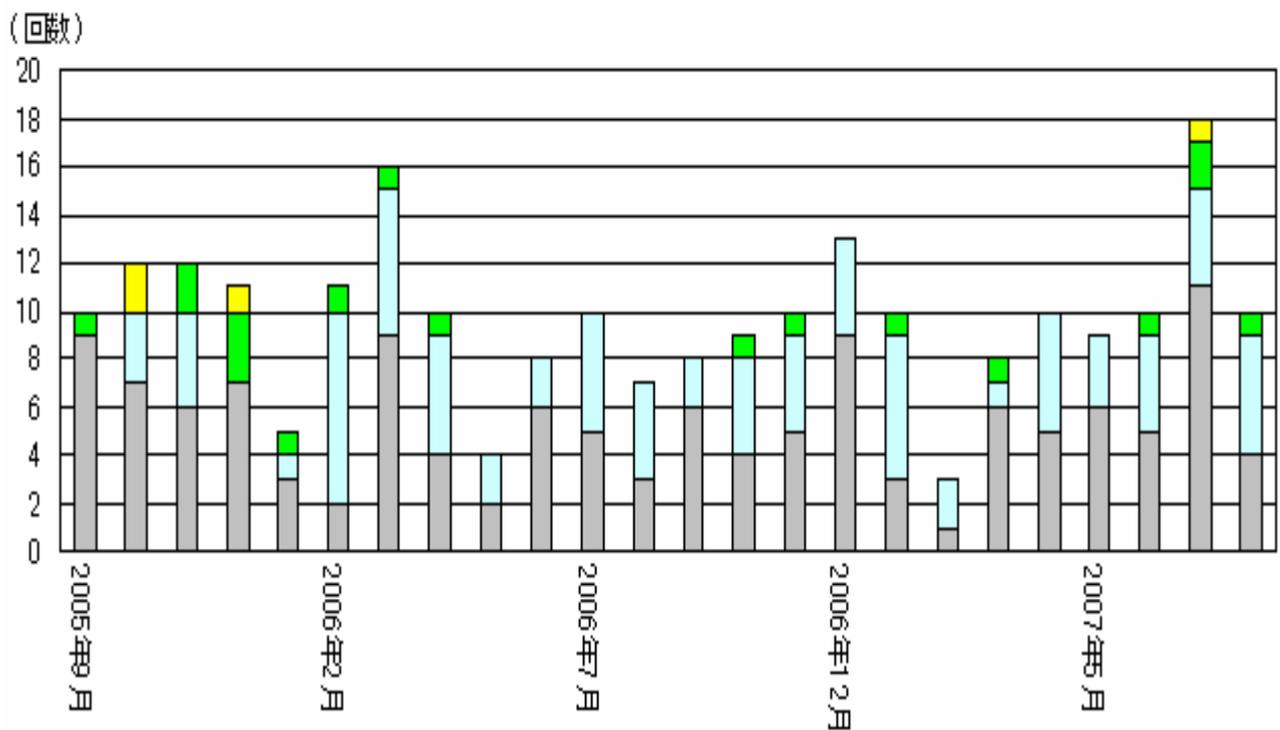
福島県の各地の震度の詳細は、別紙の「福島県で震度1以上を観測した地震の表」を参照。なお、震源要素等は後日修正されることがある。

【断面図】



福島県及びその周辺を震央とし、概況で触れた地震のうち3回を矢印で示した。断面図のA-Bは右下の図の直線A - Bに対応する。

【福島県内で震度1以上を観測した地震の月別・最大震度別回数】 (2005年9月～2007年8月)



福島県で震度 1 以上を観測した地震の表

期間 2007 年 8 月 1 日 ~ 2007 年 8 月 31 日

No. 1

発震時 月日時分	震央名	北緯	東経	深さ	規模
8. 1 17:15	三重県南東沖	33° 59.4'	136° 46.0'	383km	M5.5
福島県	震度 2	白河市表郷* 白河市東* 二本松市針道* 棚倉町棚倉中居野 玉川村小高* 平田村永田* 田村市大越町* 田村市都路町* いわき市錦町* 福島広野町下北迫大谷地原* 榎葉町北田* 大熊町下野上* 双葉町新山* 浪江町幾世橋 葛尾村落合関下* 南相馬市鹿島区* 南相馬市小高区*			
	震度 1	郡山市朝日 郡山市湖南町* 白河市郭内 白河市新白河* 須賀川市八幡山* 須賀川市岩瀬支所* 二本松市郭内* 二本松市油井* 川俣町五百田* 鏡石町鏡田* 泉崎村泉崎* 矢祭町東館下上野内* 矢祭町東館館本* 石川町下泉* 浅川町浅川* 古殿町松川* 小野町中通* 小野町小野新町* 田村市船引町 田村市滝根町* 田村市常葉町* 本宮市糠沢* いわき市小名浜 いわき市平四ツ波* いわき市平梅本* 相馬市中村* 福島広野町下北迫苗代替* 富岡町本岡* 川内村下川内 川内村上川内小山平* 川内村上川内早渡* 大熊町野上* 葛尾村落合落合* 新地町谷地小屋* 飯館村伊丹沢* 南相馬市原町区三島町 南相馬市原町区高見町*			
8. 4 02:13	福島県沖	36° 54.9'	141° 10.9'	49km	M4.2
福島県	震度 3	田村市都路町*			
	震度 2	須賀川市岩瀬支所* 玉川村小高* いわき市平四ツ波* 榎葉町北田* 川内村上川内早渡* 葛尾村落合関下*			
	震度 1	福島市松木町 郡山市朝日 郡山市開成* 郡山市湖南町* 白河市郭内 白河市新白河* 須賀川市八幡山* 須賀川市八幡町* 二本松市郭内* 二本松市金色* 二本松市油井* 二本松市針道* 川俣町五百田* 大玉村玉井* 鏡石町鏡田* 天栄村下松本* 棚倉町棚倉中居野 平田村永田* 浅川町浅川* 小野町中通* 小野町小野新町* 田村市船引町 田村市滝根町* 田村市大越町* 田村市常葉町* 本宮市本宮*			
(震度つづく)					

福島県で震度 1 以上を観測した地震の表

期間 2007 年 8 月 1 日 ~ 2007 年 8 月 31 日

No. 2

発震時 月日時分	震央名	北緯	東経	深さ	規模
(震度続き)					
	震度 1	本宮市糠沢* いわき市平梅本* 福島広野町下北迫苗代替* 川内村下川内 大熊町下野上* 飯舘村伊丹沢* 南相馬市小高区*	いわき市小名浜 福島広野町下北迫大谷地原* 富岡町本岡* 川内村上川内小山平* 浪江町幾世橋 南相馬市原町区高見町*	いわき市錦町* 福島広野町下北迫大谷地原* 富岡町本岡* 大熊町野上* 葛尾村落合落合* 南相馬市原町区高見町*	
8. 4 02:23	福島県沖	36° 54.9'	141° 10.9'	49km	M3.9
	福島県 震度 2 震度 1	田村市都路町* 二本松市針道* 小野町中通* 田村市滝根町* いわき市平四ツ波* 福島広野町下北迫苗代替* 川内村上川内小山平* 浪江町幾世橋	楢葉町北田* 川俣町五百田* 小野町小野新町* 田村市常葉町* 福島広野町下北迫大谷地原* 川内村下川内 川内村上川内早渡*	葛尾村落合関下* 玉川村小高* 田村市船引町 田村市常葉町* 福島広野町下北迫大谷地原* 川内村上川内 川内村上川内早渡*	
8. 6 21:06	福島県浜通り	37° 25.2'	140° 56.6'	86km	M3.4
	福島県 震度 1	玉川村小高* 田村市都路町*			
8. 8 21:27	福島県浜通り	37° 39.1'	140° 48.7'	77km	M3.7
	福島県 震度 2 震度 1	田村市都路町* 二本松市郭内* 玉川村小高* 田村市常葉町* 楢葉町北田* 浪江町幾世橋	葛尾村落合関下* 二本松市針道* 小野町中通* 福島広野町下北迫大谷地原* 川内村下川内 葛尾村落合落合*	川俣町五百田* 田村市船引町 福島広野町下北迫大谷地原* 川内村上川内早渡*	
8.12 09:56	福島県沖	37° 33.3'	141° 40.5'	45km	M4.1
	福島県 震度 1	二本松市郭内* 田村市大越町* 楢葉町北田*			
8.16 04:15	千葉県東方沖	35° 26.6'	140° 31.8'	31km	M5.3
	福島県 震度 1	郡山市朝日 須賀川市八幡山*	郡山市湖南町* 須賀川市八幡町*	白河市郭内 玉川村小高*	
(震度つづく)					

福島県で震度 1 以上を観測した地震の表

期間 2007 年 8 月 1 日 ~ 2007 年 8 月 31 日

No. 3

発震時 月日時分	震央名	北緯	東経	深さ	規模
(震度続き)	震度 1	いわき市小名浜	いわき市錦町*		
8.17 02:10	栃木県北部	37° 04.7'	139° 54.0'	11km	M3.6
福島県	震度 2 震度 1	南会津町滝原* 白河市郭内 白河市新白河* 下郷町高碓* 下郷町塩生* 南会津町田島 南会津町界*	棚倉町棚倉中居野 檜枝岐村上河原*		
8.22 16:26	渡島支庁東部	41° 58.4'	140° 48.0'	122km	M5.4
福島県	震度 1	田村市都路町*			
8.26 03:07	福島県会津	37° 02.1'	139° 22.8'	8km	M2.3
福島県	震度 2	檜枝岐村上河原*			

(注) 使用した震源データ等は暫定値であり、後日変更されることがある。

各地の震度は福島県のみを示し、*は地方公共団体または独立行政法人防災科学技術研究所の観測点である。

この資料の震源要素は、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人(産業技術総合研究所、防災科学技術研究所、海洋研究開発機構)、国土地理院、神奈川県温泉地学研究所、東京都、青森県、静岡県、横浜市及び気象庁のデータを基に作成している。

緊急地震速報 10月1日スタート

緊急地震速報受信時の訓練用キットを作成しました

緊急地震速報受信時対応行動訓練用キット

気象庁では、緊急地震速報を国民の皆さまに理解し、有効に利活用して頂くため、各機関等で実施される防災訓練のなかで緊急地震速報受信時の対応行動訓練を実施して頂けるよう、訓練用キットを作成しました。

本キットは、緊急地震速報受信時（テレビで確認する場合を想定）の対応行動から地震による揺れが収まった後の避難行動開始までの訓練を支援するため、映像と音声により一連の流れを表したものです。

放送内容

- 1 訓練概要説明（アナウンス）
- 2 訓練開始報（アナウンス）
- 3 緊急地震速報放送（アラーム＋アナウンス）
- 4 地震発生（効果音）
- 5 避難行動開始案内（アナウンス）
- 6 訓練終了報（アナウンス）



本キットの映像例

訓練用キットは、8つの地域における地震を想定し作成されています。

活用例

訓練用キットを活用した訓練事例（小学校等での訓練を想定）を以下のとおり示します。地震による揺れが発生する2分前に訓練用キットを再生し、訓練を開始して下さい。

なお、訓練用キットの活用方法は、気象庁が作成した「緊急地震速報利活用の手引き（施設管理者用）Ver 1.0」[PDF形式：558KB]にも記載してありますので、ご参照下さい。

訓練用キットを用いた訓練例（小学校等）

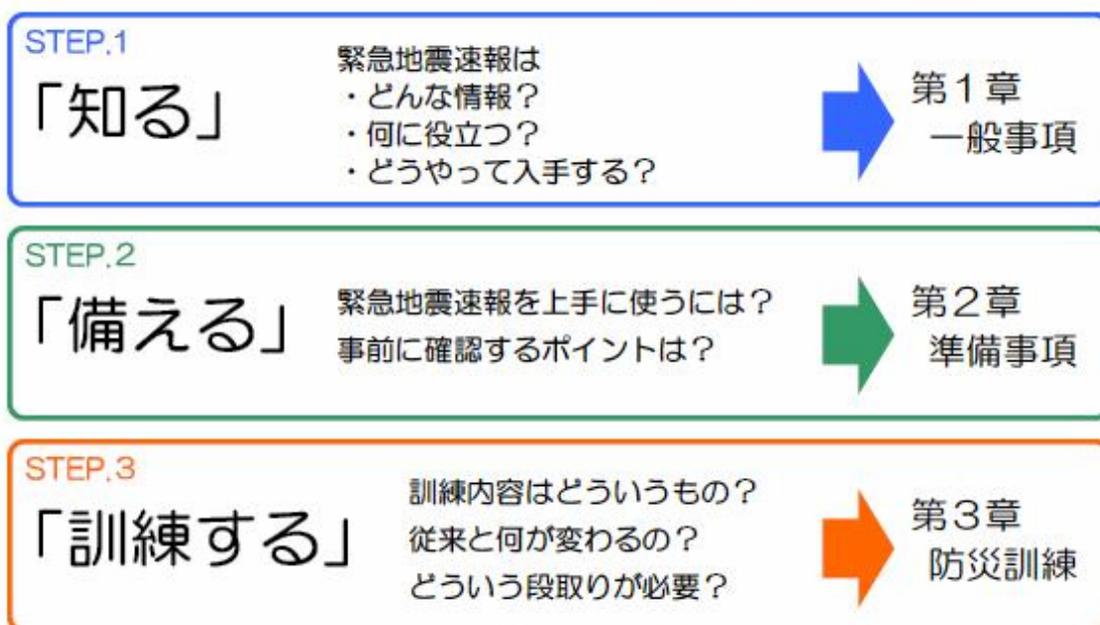
実時間例 経過時間 放送内容 訓練行動例

- | | | |
|--------|---------|-----------------------------------|
| 13:58 | | 1. 訓練概要説明 |
| | 0:01:35 | 2. 訓練開始報 |
| | 0:01:50 | 3. 緊急地震速報 適切な対応行動を取る（机の下に潜る etc.） |
| 14:00 | 0:02:00 | 4. 地震による揺れ発生 対応行動を継続 |
| | 0:02:25 | 5. 避難行動開始案内 避難行動を開始（校庭に避難する etc.） |
| 14:01頃 | 0:02:40 | 6. 訓練終了報（避難行動等を継続 etc.） |

緊急地震速報の利活用の手引き

気象庁では、国や地方公共団体の庁舎や公共施設、民間のオフィスや集客施設などにおける緊急地震速報の一般的な利活用の方法や緊急地震速報を取り入れた訓練を計画・実施する際のポイントをまとめた「緊急地震速報の利活用の手引き（施設管理者用）Ver. 1.0」を作成しました。

緊急地震速報を適切に利活用するためには、緊急地震速報の特性を良く理解し、緊急地震速報を受けた時にとっさに適切な対応行動が出来るよう、日頃から準備しておくことが必要です。このため、地方自治体や学校、会社等で行われる防災訓練の中に緊急地震速報を取り入れる等により、この情報を体験することはとても有効で貴重な機会となります。



「緊急地震速報受信時の訓練用キット」および「緊急地震速報の利活用の手引き（施設管理者用）Ver. 1.0」は気象庁ホームページの以下の URL からダウンロードできますので、ご利用ください。

<http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/EEW/kaisetsu/usage/index.html>

気象庁ホームページ：<http://www.jma.go.jp/>

「緊急地震速報」の受信装置の設置を義務化しているなどと話す業者にご注意ください

最近、「市町村の防災センターやマンション管理業者からの依頼です」などと名乗って、「緊急地震速報」の受信装置を家庭へ設置することを行政が義務化しているかのような説明を行い、販売しようとする業者が現れているとの情報がありました。

しかし、気象庁では、市民のみなさまに受信装置の設置等を義務付けたり、あっせんしたりすることはありませんので、ご注意ください。